

(単位：千円)

決算書 (P358～P359)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	ほ場整備等遺跡発掘調査事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,166	4,047		3,959			88
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	119			13	106	

【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業から埋蔵文化財を保護するため、当該地の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録を保存する。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・ 県営ほ場整備事業地内において本発掘調査を実施した。
- ・ 県営ほ場整備事業に伴い実施した本発掘調査の整理作業を実施し、報告書を刊行した。

<本発掘調査> 県営ほ場整備事業に係る発掘調査 (単位: m²)

遺跡名 (開発事業)	所在地	調査面積
天狗遺跡 (県営ほ場整備事業地内・高野地区)	板倉区高野地内	400
合計		400

<発掘調査報告書作成>

遺跡名 (開発事業)	調査地
上水尻遺跡 (県営ほ場整備事業地内・三和中部第1地区)	三和区今保地内
台の上遺跡 (県営ほ場整備事業地内・木島地区)	大字木島地内

【事業の成果】

- ・ 平成 29 年度に実施した本発掘調査について、整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行した。
- ・ 事業主体との工法変更協議の結果、当初、発掘調査を予定していた範囲を減じ、遺跡を現地保存することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後も事業主体との円滑な調整を行い、遺跡の記録保存や現地保存など埋蔵文化財の保護に努める。

決算書 (P 358～P 359)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	ほ場整備等遺跡発掘調査事業		

【執行残額について】

- 入札差金 13
 - ・印刷製本費、委託料
- その他 106
 - ・報酬、共済費、旅費、委託料、機械借上料ほか



天狗遺跡 調査風景



天狗遺跡 調査風景

(単位：千円)

決算書 (P358～P359)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	埋蔵文化財センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,912	8,688				308 (使用料、寄付金)	8,380
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	224			5	219	

【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究、保存管理及び普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・歴史博物館のリニューアルに合わせ、通史展示（主に先史時代～戦国時代）を行うとともに、謙信公ゆかりの文化財や春日山城跡に関する資料の展示を充実させる。
- ・入館者数：38,000 人

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 施設の維持管理
- (2) 施設利用学習の実施
 - ・施設利用学習…67 件（3,165 人 直江津南小学校、春日小学校、春日山町 1 丁目町内会など）
- (3) 展示・講演会の実施
 - ・常設展をリニューアル（平成 30 年 7 月 21 日）し、「謙信公の見た頸城一戦国時代のまちとむらー」を開催
 - ・「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催
(謙信公の郷振興協議会主催、平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
入館者数	42,061 人	31,861 人	38,000 人	27,800 人

決算書 (P358～P359)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	埋蔵文化財センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	—	12	3	8
	その他	1	※8,795	—	300
	合計	1	8,807	3	308
②支出	施設維持管理費	8,345	8,451	8,190	7,981
	うち委託料	1,743	1,694	1,580	1,576
	その他	557	356	722	707
	合計	8,902	8,807	8,912	8,688
③公費投入額(②-①)		8,901	0	8,909	8,380
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		212	0	234	301

※寄附者の意向により国宝太刀収集事業寄附金を充当したもの

○目標達成状況

NHK大河ドラマ「真田丸」放送を含む直近3か年(平成27～29年)の入館者の推移等を参考に目標値としたが、平成30年度は27,800人となり目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・常設展のリニューアルに合わせ、縄文時代から戦国時代、近世までの出土品や絵図等の資料を展示することで、当市の歴史、魅力を伝えることができた。
- ・埋蔵文化財の保護の拠点として、調査研究、保存管理及び普及公開を行うとともに、小中学校の校外学習などの場に供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数はNHK大河ドラマ放送等の影響に左右されるほか、猛暑により目標値を達成できなかった。
- ・謙信公に関する話題の提供など情報発信や、謙信公・春日山城跡に関する展示資料の充実を図り、入館者の維持に努める。
- ・市内小中学校等へ施設利用学習や総合的な学習の時間等での活用をPRし、児童生徒が埋蔵文化財に触れることを通じ、郷土の歴史に関する理解を深められるよう努める。

【執行残額について】

- 入札差金 5
 - ・施設管理委託料ほか
- その他 219
 - ・報酬、共済費、旅費ほか 109
 - ・光熱水費、電信電話料、下水道使用料 110

(単位：千円)

決算書 (P358～P361)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
31,541	30,102	7,245			194 (諸収入)	22,663
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,439			558	881	

【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・国指定史跡釜蓋遺跡のガイダンス施設として、吹上遺跡・釜蓋遺跡の価値や魅力を分かりやすく紹介するとともに、広く発信する。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：23,500 人

○実施内容、これまでの経過等

平成 20 年 7 月 28 日 吹上遺跡と釜蓋遺跡が国の史跡に指定される。

平成 27 年 3 月 24 日 吹上遺跡の出土品 (1,320 点) が新潟県文化財に指定される。

平成 27 年 4 月 16 日 釜蓋遺跡公園開園

(1) 発掘調査

- ・吹上・釜蓋遺跡調査指導委員会の指導の下、釜蓋遺跡の発掘調査を進めるとともに、常時、発掘調査現場を公開し、情報発信に努めた。また、考古学を専攻する大学生の受入事業を継続して実施した。

(2) 活用

- ・吹上・釜蓋遺跡応援団との連携による体験活動やイベントの実施
- ・小学校の校外学習向け活動プログラムや遺跡の魅力を発信する講座の実施

(3) 維持管理

- ・釜蓋遺跡ガイダンスの維持管理の実施
- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡内の維持管理の実施

決算書 (P 358～P 361)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計 画	実 績
利用者数	23,207 人	21,163 人	23,500 人	21,513 人
体験者数	4,965 人	5,256 人	—	5,002 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	—	—	—	—
	その他	33	※9,095	132	194
	合計	33	9,095	132	194
②支出	施設維持管理費	12,705	13,338	14,214	13,745
	うち委託料	6,267	6,378	6,696	6,683
	その他	2,107	1,289	1,473	1,459
	合計	14,812	14,627	15,687	15,204
③公費投入額 (②-①)		14,779	5,532	15,555	15,010
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		637	261	662	698

※寄附者の意向による国宝太刀収集事業寄附金及びふるさと納税を充当したもの

○目標達成状況

入館者数 (21,513 人) は前年度の実績 21,163 人を上回ったが、目標は達成できなかった。

【事業の成果】

- ・環濠内の中央部を発掘調査し、釜蓋遺跡で最大の竪穴建物跡 (約 150 m²) や方形周溝墓と考えられる遺構等を確認した。
- ・釜蓋遺跡発掘調査学生受入事業では、学生の知識・技能の向上を図ったほか、遺跡の魅力を参加学生や新聞報道を通し発信することができた。
- ・吹上・釜蓋遺跡応援団主催による遺跡まつり (年 2 回) の実施や、釜蓋遺跡ガイダンス定期講座の開催などにより、市民に釜蓋遺跡の魅力や埋蔵文化財に関する情報などの発信ができた。
- ・小学校と連携を図り、総合的な学習の時間の一環としても釜蓋遺跡公園・釜蓋遺跡ガイダンスの活用が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・平成 20 年度からの発掘調査の成果をまとめた発掘調査総括報告書を作成する。
- ・天候の影響により夏季の入館者数が減少し、目標値には達しなかった。
- ・吹上遺跡・釜蓋遺跡の知名度向上を目指し、施設等の周知を一層図るとともに、吹上・釜蓋遺跡応援団と連携し、遺跡まつりなどを継続して実施することにより魅力を発信する。
- ・更なる周知を図ることで、学校教育における施設利用学習の増加を図るほか、移動手段や時間などの確保が難しい小学校等には出前授業を実施する。

決算書 (P358～P361)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

【執行残額について】

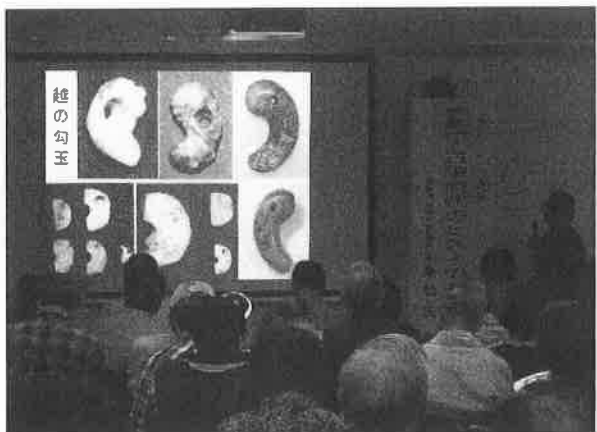
- 入札差金 558
 - ・測量委託料、空中写真撮影委託料、施設管理委託料ほか
- その他 881
 - ・非常勤一般職報酬、社会保険料ほか 245
 - ・現業非常勤一般職報酬、労災保険料、光熱水費、複写機借上料ほか 327
 - ・調査指導委員会委員報酬、費用弁償 309



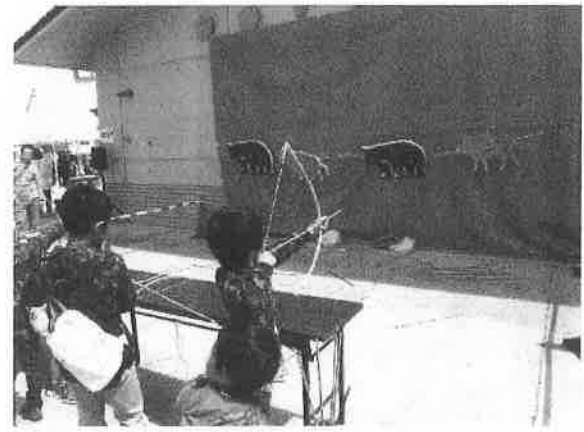
発掘調査で発見された大型の竪穴建物跡



発掘調査学生受入事業での作業の様子



釜蓋遺跡ガイダンス定期講座の様子



遺跡まつりの様子

(単位：千円)

決算書 (P 360～P 361)	10 款 6 項 1 目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,810	8,502				17 (財源収入)	8,485
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	308				308	

【目的】

スポーツを通じて、誰もが明るく健やかな生活を送ることができるまちづくりを進めることを目的とした「いきいきスポーツ都市宣言」に基づき、スポーツや健康に対する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の生涯スポーツ活動を推進する。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

スポーツ推進審議会 257

○平成 30 年度目標

上越市第2次総合教育プランに基づく取組の適切な進捗管理及びスポーツの推進に関する意見を把握する。

○実施内容、これまでの経過等

審議会を年3回開催し、上越市第2次総合教育プラン(前期実施計画)の進捗状況の点検を行うとともに、生涯スポーツと競技スポーツの諸課題について議論を深めた。

○目標達成状況

上越市第2次総合教育プラン(前期実施計画)の進捗状況を踏まえ、市民の生涯スポーツや競技スポーツの活性化に向けて必要な検討を進めることができた。

スポーツ推進委員 1,899

○平成 30 年度目標

地域に配置された66人の委員が、スポーツの推進役として活動する。

○実施内容、これまでの経過等

スポーツ推進委員66人が地域団体等と連携して、ニュースポーツや健康教室等の企画・運営に携わるとともに、地域団体からの依頼に基づき、指導者やサポート役として参画した。

○目標達成状況

市と地域のパイプ役となって、地域スポーツの活動を推進することができた。

決算書 (P360～P361)	10 款 6 項 1 目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

<スポーツ推進委員が参画する教室等の実施状況>

(単位：回・人)

項目	平成 29 年度		平成 30 年度		比較増減	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
ニュースポーツ教室	26	1,697	40	2,243	14	546
健康教室	22	7,834	25	6,383	3	△1,451
体力測定会	14	120	10	178	△4	58
合計	62	9,651	75	8,804	13	△847



体力測定会



ボッチャ体験会

スポーツボランティア登録制度 111

○平成 30 年度目標

スポーツボランティアの市民のスポーツ活動に対する意識の更なる向上を図る。

・スポーツボランティア参加延べ人数：110 人

○実施内容、これまでの経過等

米山山麓ロードレース、大学ラグビー招待試合、高田城ロードレース大会、ファミリー綱引大会の運営補助として参加した。

○目標達成状況

えちご・くびき野 100 km マラソンの中止に伴い、スポーツボランティア参加延べ人数は全体で 80 人とどまり、目標を達成することができなかった。

その他 6,235

生涯スポーツ指導員報酬、レルヒ少佐顕彰事業経費、B & G 海洋センター負担金等

【事業の成果】

スポーツ推進委員やスポーツボランティアから地域のスポーツ教室や各種スポーツイベントに積極的に参画いただき、市のスポーツ推進の担い手を育成することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地域スポーツの推進役として、スポーツ推進委員の知識や技能のスキルアップに引き続き取り組んでいく必要がある。

決算書 (P360～P361)	10款6項1目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

【執行残額について】

○その他 308

- ・報酬 115
- ・旅費 111
- ・消耗品費等 82

(単位：千円)

決算書 (P 360～P 363)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
112,720	108,078	170	1,048		8,523 (負担金、諸収入)	98,337
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,642				4,642	

【目的】

幼児、児童生徒及び教職員の健康の保持増進と、安全で快適な学校環境の整備を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

健康診断の実施 58,580

○平成 30 年度目標

- 健康診断の対象者全員が適切に受診できるようにするとともに、教職員を対象にしたストレスチェックの結果に基づき、高ストレス者に対する面接指導を徹底する。
- 全ての学校で使用する検診器具が滅菌消毒され、児童生徒の体格等に合ったものが使用できるよう、滅菌作業や器具の整備に努める。

○実施内容、これまでの経緯等

- 学校保健安全法に基づき幼児、児童、生徒、教職員の健康診断を実施した。
- 幼児、児童生徒については、学校医による内科・歯科・耳鼻科・眼科検診を実施した。尿検査、心臓検査(幼児除く)については、検査機関に委託して実施した。
- 教職員については、検査機関に委託して胸部エックス線検査、尿検査、心臓検査、血液検査等を実施した。
- 労働安全衛生法に基づき検査機関に委託し、小中学校教職員を対象にストレスチェックを実施した。その結果、高ストレス者に対しては面接指導を受けるよう勧め、希望者に対し面接指導を実施した。
- 耳鼻科、歯科、内科検診器具の滅菌作業を実施するとともに、児童生徒の体格等に合った検診器具を配置整備した。
- 検診業務繁忙期に検診業務が円滑に実施できるよう、大規模校に業務補助員を配置した。

○目標達成状況

- 学校保健安全法に基づいた健康診断を円滑に実施することができた。また、ストレスチェックの結果、高ストレス者に対して面接指導の周知を図った。
- 耳鼻科検診器具については児童生徒の体格に応じた検診器具を整備するとともに、適切な滅菌方法で消毒した検診器具を使用することができた。

決算書 (P 360～P 363)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

歯科保健事業 6,653

○平成 30 年度目標

対象学年の人数に見合った歯科衛生士を派遣し、歯肉炎予防に重点を置いた歯科教育の充実を図る。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼稚園、小中学校へ歯科衛生士を派遣し、口腔衛生についての講話やブラッシング指導を実施した。
- ・フッ化物洗口を希望する幼児、児童生徒に対し、国の方針及び県のマニュアルに基づき、医療用医薬品を使用したフッ化物洗口を実施した。

○目標達成状況

- ・全ての幼稚園、小中学校の対象学年に歯科衛生士を派遣し、歯肉炎予防教室を実施することができた。
- ・1人平均う歯数は小学校で0.08本、中学校で0.29本と、平成29年度の小学校0.08本、中学校0.33本に対して中学校は減少した。
- ・歯肉炎罹患率は小学校で0.6%（平成29年度0.9%）、中学校で2.0%（平成29年度1.6%）と中学校では増加しており、今後更に歯肉炎予防対策が必要である。

生活習慣病予防教育の推進 5,836

○平成 30 年度目標

- ・血液検査を市内全小学5年生及び中学2年生の希望者を対象に全額公費負担で実施し、生活習慣改善指導と生活習慣病予防教育の推進を図る。
- ・血液検査を希望する児童生徒を増加させる。（小学生85%、中学生70%）
- ・ライフスタイル調査を実施し、児童生徒の生活習慣の実態を把握する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・小学5年生に脂質検査、中学2年生に脂質検査と貧血検査を、希望者を対象として全額市費負担で実施した。
- ・保健師や養護教諭が児童生徒、保護者に対し、血液検査の必要性や重要性について事前指導を行うとともに、検査後は検査結果を基に個別や集団の保健指導を実施した。
- ・市内全児童生徒を対象にライフスタイル調査を実施し、生活リズムの様子、食事の様子、帰宅後の様子など生活習慣の実態を把握した。

○目標達成状況

- ・血液検査の実施率は小学校で83.7%、中学校で73.2%であり、中学校においては目標が達成できた。
- ・ライフスタイル調査を実施し、児童生徒の生活習慣の実態を把握するとともに、結果を冊子にまとめ、学校や関係機関へ送付し、周知を図った。

決算書 (P360～P363)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

自動体外式除細動器 (AED) の保守管理 1,788

○平成 30 年度目標

AED が常に使用可能な状態となるよう、適正に保守管理する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・市立幼稚園、全ての小中学校に AED を配置し、常に正常な状態で作動するよう、保守点検を実施した。
- ・校外学習や学校行事、水泳授業等で貸出しを希望する学校には、教育委員会所有の AED を貸し出した。

○目標達成状況

市立幼稚園、小・中学校に設置してある AED を常に正常な状態で維持することができた。貸出し用の AED についても保守点検を実施し、貸出しが可能な状態を維持した。
なお、AED 使用につながる事故や疾病等は発生していない。

保健室備品の整備 1,666

○平成 30 年度目標

児童、生徒が健康で安全な学校生活を送れるよう、優先度の高い備品から順次購入し、保健室の環境を整備する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校からの要望に基づき、現状を確認しながら、老朽化などにより使用困難となっている健康診断用備品を、優先度の高いものから順次計画的に購入した。
- ・保健室のベッド寝具クリーニングを実施し、衛生面に配慮した。
- ・健康診断で使用するオージオメータが正常に使用できるよう点検や修繕を行った。

○目標達成状況

保健室としての機能が維持できるよう、必要な備品を計画的に購入できた。

学校環境衛生検査の実施 12,751

○平成 30 年度目標

幼稚園、小中学校において、学校薬剤師と連携して学校保健安全法に基づく学校環境衛生検査を円滑に実施する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校保健安全法に基づいた環境衛生検査を学校薬剤師と連携して実施した。
- ・プール水質検査 (年 1～4 回: 1～2 学期)、教室の空気検査 (年 2 回: 夏季休業中、3 学期) については検査機関に委託し、検査を実施した。
- ・検査に必要なダニ検査キット、ガス検知管を購入し、検査が実施できるよう整備した。

○目標達成状況

- ・全ての市立幼稚園、小中学校で、学校保健安全法に基づいた学校環境衛生検査を実施することができた。
- ・検査の結果、改善が必要な箇所については、速やかに改善する等対応に努めた。

決算書 (P 360～P 363)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

保健室衛生材料費（感染症対策用の消毒薬や保健室の医薬品購入など） 4,398

○平成 30 年度目標

- ・感染症対策等に必要な医薬品や衛生材料を確保する。
- ・学校における感染症予防対策の充実を図り、感染症が発生した場合は迅速に対応できるようにする。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校における感染症対策用の消毒薬やけがの手当て等に使用する医薬品を確保できるよう、幼児、児童生徒数や学級数に応じて各学校へ購入費を配当した。
- ・インフルエンザによる学年、学級閉鎖等の措置状況（学校数と延べ学級数）
平成 29 年度 小学校 38 校 171 学級、中学校 21 校 29 学級
平成 30 年度 小学校 37 校 114 学級、中学校 11 校 43 学級
- ・感染性胃腸炎による学年、学級閉鎖等の措置状況
平成 29 年度 小学校 1 校 1 学級
平成 30 年度 閉鎖措置なし

○目標達成状況

感染症の予防対策及び拡大防止のために、必要な消毒薬や物品等を確保し、感染症流行時は迅速に対応できた。

災害賠償補償保険への加入負担など 16,406

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼児、児童生徒が学校の管理下で負傷した場合に医療費の災害給付を行うため、日本スポーツ振興センター及び全国市長会の保険に加入した。
- ・災害給付額 日本スポーツ振興センター分 延べ 1,865 人 13,271 千円
全国市長会分 16 人 160 千円
- ・損害賠償金 5 件 1,077 千円

【事業の成果】

- ・健康診断は、全ての学校で学校保健安全法に基づき、適切に実施し、疾病の予防処置、治療指示などを行うことができた。
- ・生活習慣病予防教育の推進において、平成 30 年度から脂質検査と中学生の貧血検査を公費負担で実施した。血液検査の受診率は、平成 29 年度と比較すると向上した。また、保健師、栄養士による、血液検査の事前指導や、検査結果を基に個別、集団指導を実施することで、生活習慣病予防教育を推進することができた。
- ・生活習慣病予防教育の推進において、ライフスタイル調査を実施し、児童生徒の生活習慣の実態を把握することができた。
- ・保健室備品の整備では、検診器具（オージオメータ）の点検・校正を行い、適切に健康診断を実施した。
- ・学校環境衛生検査の実施では、プール水質検査や教室の空気検査等を学校薬剤師や委託業者と連携して実施することにより、児童生徒にとって望ましい学校環境衛生の維持に努めることができた。

決算書 (P 360～P 363)	10 款・6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 歯科及び耳鼻科検診、環境衛生検査等で使用する検診検査器具については、老朽化が進んでいる器具が多くあることから、計画的、継続的な入替えをする必要がある。
- ・ AED の設置について、心疾患のある児童生徒が在籍する学校では複数台必要なケースがあるため、実態を把握し、配置について検討する必要がある。
- ・ インフルエンザ様疾患等各種感染症による学級閉鎖などの処置及び、学校内の消毒作業等を迅速かつ適切に行うとともに、手洗いなどの励行による予防対策の徹底を図る必要がある。
- ・ 血液検査の実施率を向上させるとともに、保健師や養護教諭等との連携を強化し生活習慣病予防に向けた保健指導を徹底する必要がある。

【執行残額について】

○その他 4,642

- ・ 報酬 2,026 (児童生徒数の減に伴う健康診断数の減)
- ・ 災害賠償費 7
- ・ 報償費 494
- ・ 旅費 122
- ・ 需用費 677
- ・ 役務費 434
- ・ 委託料 446
- ・ 使用料及び賃借料 418
- ・ 備品購入費 18

(単位：千円)

決算書 (P362～P363)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	学校体育施設開放事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,621	6,224				3,027 (使用料)	3,197
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	397			55	342	

【目的】

小中学校の体育施設を活用し、青少年の健全育成及び地域スポーツ等の活動を支援する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

体育施設の適切な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ環境を維持する。

(延べ利用者数：535,000人以上)

○実施内容、これまでの経過等

市立小学校(50校)及び中学校(22校)の体育施設を、学校教育(部活動を含む。)に支障のない範囲で市民に開放した。

<実施状況>

項目 施設名	開放学校数 (開放学校名)	利用期間	主な利用内容
体育館	小学校 50校 中学校 22校 合計 72校	・月～金… 19:00～21:00 ・土曜日… 9:00～21:00 ・日祝日… 9:00～17:00 ※一部学校で異なる場合あり	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサル、卓球、ダンス、剣道、空手道など
グラウンド	小学校 49校 中学校 17校 合計 66校	・月～金… 5:00～7:00 17:00～日没 ・土曜日… 5:00～日没 ・日祝日… 5:00～17:00	野球、サッカー
テニスコート	大瀧町中学校	・土日祝日…8:30～日没	テニス、ソフトテニス
プール	大島小学校	・夏休み期間中…9:30～15:30	水泳

決算書 (P362～P363)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	学校体育施設開放事業		

<利用実績：延べ人数>

(単位：人)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	比較増減
体育館	419,944	420,738	794
グラウンド	99,205	91,871	△7,334
テニスコート	1,725	1,210	△515
プール	410	388	△22
合計	521,284	514,207	△7,077

○目標達成状況

学校体育施設の修繕等に取り組み、スポーツ環境を維持することができたが、年間延べ利用者数は、目標の 535,000 人に対して 20,793 人下回り未達成となった。

【事業の成果】

学校体育施設の年間延べ利用者数は、一般体育施設と合わせて体育施設全体で年間利用調整に取り組んだ結果、平成 29 年度に比べて 7,077 人の減となったが、市内のスポーツ団体の定期的な活動を支援することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

学校体育施設の年間予約において、より一層円滑な調整ができるよう工夫していく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	55
・消耗品費	4
・修繕料	41
・使用料及び賃借料	1
・事業用備品購入費	9
○その他	342
・報酬	30
・報償金	240
・費用弁償	3
・消耗品費	3
・役務費	66

(単位：千円)

決算書 (P362～P363)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,256	5,253		216		47 (財産収入、諸収入)	4,990
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3				3	

【目的】

次代を担う青少年の健全な発達と育成を図るため、スポーツを通じて積極的に体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、ジュニア世代の競技力の向上を目指し、各種育成・強化の取組を支援する。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

指導者養成講習会と親子運動教室等の開催 110

○平成 30 年度目標

より多くの人から参加してもらえるよう、講習会及び教室の内容を参加者のニーズに合わせるなど工夫する。

- ・指導者養成講習会参加者：150 人
- ・親子運動教室参加者：150 組 300 人

○実施内容、これまでの経過等

指導者の養成や親子の運動習慣の定着を図るため、上越教育大学から講師を招き、指導者養成講習会及びその修了者が講師を補助する親子運動教室を子供の年代別に分けて年3回実施した。また、市内保育園や放課後児童クラブに生涯スポーツ指導員を派遣し、子供の体力づくり教室を実施した。



親子運動教室

○目標達成状況

参加する子供の年代別に合わせた内容で開催し、各年代に適した運動遊びの習得・実践につなげることができたが、目標とした参加人数には達することができなかった。

- ・指導者養成講習会参加者：52 人
- ・親子運動教室参加者：71 組 144 人

決算書 (P362～P363)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

少年スポーツ育成事業や育成団体への補助 4,960

○平成 30 年度目標

小・中・高校を通じて、スポーツ活動を継続するための支援を行い、青少年の競技力向上につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

各種スポーツ団体が青少年等の競技力の向上を目指し、優秀で実績のある指導者からの指導を受ける取組などに対して、補助金を交付した。

<各種団体への補助金の交付状況>

項目	交付額
上越市スポーツ少年団補助金	218
ジュニアトップアスリート育成強化補助金	2,448
上越市体育協会ジュニアスポーツクラブ補助金	1,527
居多まつり武道大会補助金	167
地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金（県補助事業）	600
合計	4,960

○目標達成状況

各種スポーツ団体の活動を支援することにより、青少年等の競技力の向上に寄与することができた。

日本体育大学との連携事業 148

○平成 30 年度目標

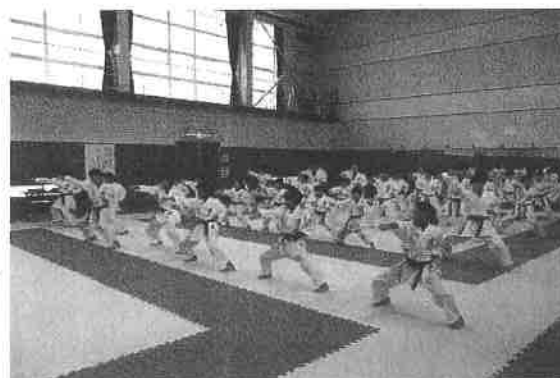
指導者を招へいし、ジュニア選手への実技指導などを行い、競技力及び指導技術の向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

ジュニアトップアスリート育成強化事業の市スポーツ協会指定 6 競技のうち、陸上競技、空手道の 2 種目において、日本体育大学から指導者を招いて、「ジュニアトップアスリートの練習会及び指導者クリニック」を開催し、練習方法や指導方法を学ぶ機会を設けた。



陸上競技



空手道

決算書 (P362～P363)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

<陸上競技の実施概要>

- ・日 時：平成30年11月4日（日）
- ・会 場：高田公園陸上競技場
- ・講 師：日本体育大学陸上競技部
- ・参加者：中学生111人及び指導者18人

<空手道の実施概要>

- ・日 時：平成31年2月10日（日）
- ・会 場：上越市ラーバンセンター
- ・講 師：日本体育大学空手道部
- ・参加者：小学生14人、中学生5人、高校生2人及び指導者19人

○目標達成状況

受講生は、指導者の実技と解説を通じて、練習方法を学ぶとともに、その練習が何のために必要なのかという目的を知ることができた。また、指導者は、指導技術を学ぶことで、今後の指導方法を見直す機会とすることができた。

その他 35

上田市交流事業“野球の日”野球大会（普通旅費、有料道路使用料）

【事業の成果】

幼少期からの運動習慣を形成するための指導者養成講習会や各種スポーツ団体の活動に対する支援、日本体育大学との連携事業などを通じて、青少年の健全な発達と競技力の向上につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

全国大会や国際大会で活躍できる選手の育成・強化を目指し、日本体育大学等の指導者を招いて、練習方法や指導方法を学ぶ機会を増やしていくなど、引き続き市スポーツ協会や種目別団体と連携した取組を推進していく必要がある。

【執行残額について】

○その他 3

- ・旅費、消耗品費等

(単位：千円)

決算書 (P362～P365)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
40,205	35,653				8,210 (財源収入 諸収入)	27,443
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,552				4,552	

【目的】

ライフスタイルの変化等に伴い、健康に対する運動の必要性の意識が高まっていることから、市民一人ひとりが明るく健やかな生活が送れるよう、スポーツを通じて健康と体力の増進を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

各種補助事業等 30,917

○平成 30 年度目標

各種スポーツ教室や大会等を開催することにより、市民がスポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康と体力の増進を図る。

- ・スポーツ教室や大会等への市民参加率：90.0%以上
- 選手強化事業を行う団体の活動を支援することにより、競技力の向上を図る。
- ・国体出場選手：30人以上

○実施内容、これまでの経過等

全国大会への出場を目指した選手の育成に向けた補助金のほか、市民が参加しやすいスポーツ教室や大会等を行う各種スポーツ団体に補助金等を交付するなど、競技力の向上やスポーツを通じた市民の健康と体力の増進を図った。

<各種イベントへの補助金等交付状況>

事業名	交付額
新潟県縦断駅伝競走大会補助金	481
ビーチラグビー大会補助金	640
レルヒカップスキー大会補助金	425
スポーツ指導者養成事業補助金	880
アスリート育成強化補助金	2,040
高田城ロードレース大会補助金	3,000
上越市体育協会運営費補助金	7,529

決算書 (P362～P365)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

上越市民体育祭補助金	786
ビーチバレーボール大会補助金	183
えちご・くびき野 100km マラソン大会交付金	6,958
大学ラグビー招待試合交付金	3,091
やすづかスポーツ大会補助金	108
牧区体育祭補助金	52
米山山麓ロードレース交付金	1,200
大潟区体育祭補助金	206
くびきチャレンジスポーツフェスティバル補助金	238
吉川区体育祭補助金	175
スカイスポーツ大会交付金	550
中郷歩くスキーとクロスカントリースキー大会補助金	168
松ヶ峯トリムマラソン大会補助金	336
中郷区体育祭補助金	291
清里区体育祭補助金	196
清里区つなひき大会補助金	133
三和区スポーツ大会補助金	485
名立区駅伝競走大会補助金	207
名立区歩こまいか名立補助金	25
スポーツ施設借上等補助金	475
国体出場選手壮行会委託料	59
合 計	30,917

<スポーツ教室や大会等の市民の参加状況>

(単位：人)

項目	参加者数
各種スポーツイベント	56,255
市体育協会（現市スポーツ協会）及び加盟団体による主催事業	110,786
総合型地域スポーツクラブ主催事業	35,676
上越市スポーツ少年団事業	701
上越市スポーツ推進委員による活動	9,227
その他事業	177
合 計	212,822
参加率（延べ参加者数／人口※平成31年3月末現在）	110.2%

決算書 (P362～P365)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		



大学ラグビー招待試合



高田城ロードレース大会

<国体種目及び出場選手数の状況>

(単位：人)

種目	陸上競技	バレーボール	ビーチバレーボール	体操	剣道	クレー射撃	セーリング
人数	1	1	2	4	1	1	1

種目	ゴルフ	パワーリフティング	スキー	スケート	アイスホッケー	水泳	サッカー
人数	1	1	5	3	4	2	0

種目	テニス	弓道	空手道	山岳	柔道	銃剣道	合計
人数	0	0	0	0	0	0	27

○目標達成状況

各スポーツ団体等が開催する教室等が増え、参加延べ人数が増加したことから、市民がスポーツに親しみ、健康と体力の増進に寄与することができた。

競技力の向上に向けた取組を支援したが、国体出場選手は27人で、目標を達成することができなかった。

スポーツ振興奨励金 4,030

○平成30年度目標

青少年の競技力向上及び成人の生涯スポーツ活動の推進につなげる。

- ・交付申請件数 青少年：個人150件、団体22件
- 成人：個人20件、団体5件

○実施内容、これまでの経過等

全国大会及び国際大会等へ出場する選手や団体に対して奨励金を交付した。(全国大会：個人10千円、団体50千円、国際大会：個人30千円、団体150千円)

決算書 (P362～P365)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

<奨励金の交付状況>

(単位：件)

項目		件数	備考
青少年	個人	163	
	団体	15	
成人	個人	63	
	団体	12	青少年との混合団体(2件)を含む。
合計		253	

○目標達成状況

全国大会や国際大会等に出場する当市に居住する選手に奨励金を交付し、競技力の向上とスポーツの振興につなげることができた。

ファミリー綱引大会 706

○平成30年度目標

ファミリー綱引大会の開催を通じて市民の健康維持や体力づくりにつなげるほか、年代を超えた選手が参加することにより、地域の結束、交流をより一層強める。

- ・参加チーム数 40以上

○実施内容、これまでの経過等

町内会、小学校区又は各区単位でチームを募集し、11月18日(日)に第35回大会をリージョンプラザ上越で開催した。

○目標達成状況

大会には、子供から高齢者まで多くの市民が参加し、体力づくりに対する意識を高めるとともに、世代間交流により地域の結束を深めることができた。

参加チーム数は39チームで、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

各種団体が行う市民が参加しやすいスポーツ教室や大会等の開催を支援したことにより、市民参加率が目標を上回るなど、スポーツを通じた市民の健康と体力増進につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

全国大会や国際大会で活躍できる選手の育成・強化を目指し、引き続き市スポーツ協会や種別団体と連携した取組を推進していく必要がある。

【執行残額について】

○その他 4,552

- ・えちご・くびき野100kmマラソン大会交付金等
(えちご・くびき野100kmマラソンが台風の影響により中止になったことによる減)

(単位：千円)

決算書 (P 364～P 365)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,368	5,244		852			4,392
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	124				124	

【目的】

子どもから高齢者まで、いつでも様々なスポーツに取り組めるよう、学校や地域におけるスポーツ活動を支援するとともに、コミュニティスポーツの推進を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

スポーツ活動サポート事業 4,694

○平成 30 年度目標

各学校の進捗状況を随時把握し、割り振られた指導者派遣回数を全て活用できるよう調整する。
・小中学校、地域への指導者派遣回数：延べ 1,560 回

○実施内容、これまでの経過等

児童・生徒の競技力向上のため、専門的な知識と技術を持つ指導者を派遣し、小・中学校におけるスポーツ活動を支援した。

＜小・中学校、地域への指導者派遣状況＞

(単位：箇所・回)

区分	平成 29 年度		平成 30 年度		比較増減	
	箇所数	回数	箇所数	回数	箇所数	回数
小学校	34	344	39	289	5	△55
中学校	17	886	18	1,243	1	357
地域	0	0	0	0	0	0
合計	51	1,230	57	1,532	6	302

○目標達成状況

小学校の希望する課外活動に対して、一部指導者の日程が合わず、派遣することができなかったため、目標を達成することができなかった。

決算書 (P364～P365)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

総合型地域スポーツクラブの育成 550

○平成 30 年度目標

市内の総合型地域スポーツクラブと連携し、地域スポーツを推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・市内の総合型地域スポーツクラブを学校関係者等に広く紹介することで、クラブが地域で果たす役割の理解を深めてもらうとともに、ジュニア層の競技力の向上及び部活動について話し合い、今後のクラブ運営やクラブと学校、他団体との協働の参考とする研修会を開催した。
- ・中郷区における総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、活動支援補助金を交付し、設立準備委員会の立上げや運営を支援した。

○目標達成状況

- ・研修会を通して、総合型地域スポーツクラブと競技団体や学校との協働に向け、理解を深めることができた。
- ・中郷区のまちづくり団体やスポーツ推進委員と連携し、新たなクラブの設立に向けた取組が促進された。

<総合型地域スポーツクラブの設立状況>

設立数：11 クラブ（平成 31 年 3 月 31 日現在）

内 訳：北諏訪、高士、津有北部、安塚、浦川原、柿崎、大潟、頸城、板倉、三和、名立

【事業の成果】

- ・スポーツ活動サポート事業では、専門的な知識や技術を有する指導者を小・中学校の部活動等へ派遣することにより、児童・生徒のスポーツに対する関心を高め、運動習慣の形成を促すとともに、基礎的な技術の習得により競技力の向上が図られた。
- ・総合型地域スポーツクラブは、中郷区で設立の準備が進められた。（平成 31 年 4 月設立）

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

一部の総合型地域スポーツクラブでは、人口減少や地域社会の変化に伴う会費や事業収入の減少などにより、財源の確保が課題となっているところもあることから、地域におけるスポーツ活動の維持・推進というクラブ本来の設立目的に立ち返り、それぞれの地域の実態に即した対応を促していく必要がある。

【執行残額について】

○その他 124

- ・報償金 84
- ・役務費 33
- ・消耗品費等 7

(単位：千円)

決算書 (P364～P365)	10 款 6 項 4 目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (繰越金、諸収入)	一般財源
442,222	426,429			410,200	791	15,438
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	15,793			14,547	1,246	

【目的】

市民の健康増進やスポーツ活動の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を整備する。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

体育施設の機能の維持、向上を図る。

- ・スポーツ公園野球場照明設備工事の実施設計を完了する。
- ・上越市総合体育館南側駐車場舗装繕修工事を完了する。
- ・高田公園野球場防球ネット設置工事を完了する。
- ・(仮称)上越市体操アリーナの本体工事等に着手する。(竣工予定日：令和元年 12 月)

○実施内容、これまでの経過等

施設名	金額	実施内容
スポーツ公園野球場	2,484	・照明設備工事实施設計業務委託 2,484
上越市総合体育館	9,671	・南側駐車場舗装繕修工事 9,671
高田公園野球場	46,983	・防球ネット設置工事 46,983
(仮称)上越市体操アリーナ	367,291	<ul style="list-style-type: none"> ・施工監理委託料 3,470 ・電波障害調査業務委託料 821 ・体育施設整備工事 341,839 ・施設解体撤去工事 2,160 ・用地造成工事 15,264 ・物件移転補償料 1,415 ・電波障害移設補償料 2,024 ・その他報償金等 298

決算書 (P 364～P 365)	10 款 6 項 4 目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設整備事業		

○目標達成状況

- ・スポーツ公園野球場照明設備工事実施設計、上越市総合体育館南側駐車場舗装修繕工事、高田公園野球場防球ネット設置工事は、計画どおり完了した。
- ・(仮称) 上越市体操アリーナ新築工事は、令和元年 12 月竣工予定で工事に着手した。

【事業の成果】

施設の老朽化に伴う修繕工事や機能の維持・拡充のための改修工事に取り組み、スポーツ環境の安全性や快適性の向上が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設の老朽化が年々進んでいく状況を踏まえ、体育施設の適正配置に取り組み、計画的な修繕を実施していく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	14,547	
・委託料		183
・工事請負費		14,364 ((仮称) 上越市体操アリーナ新築工事等)
○その他	1,246	
・光熱水費等		1
・使用料等		3
・電信電話料等		1
・委託料		70
・補償、補填及び賠償金		1,166 (電波障害移設補償料)
・報酬ほか		5

(単位：千円)

決算書 (P364～P367)	10 款 6 項 4 目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
282,587	268,501		7,592		15,842 (使用料、財産収入、 諸収入)	245,067
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	14,086			1,635	12,451	

【目的】

スポーツ活動の普及促進と競技力の向上を図り、安全かつ快適なスポーツ環境を提供するため、施設の円滑な運営及び適切な維持管理を行う。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

(指定管理施設：合併前上越市)

○指定管理の状況

指定管理施設 (19 施設)	上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園(野球場、多目的運動広場、庭球場)、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園(弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場)、上越市今泉スポーツ広場(野球場、多目的広場)、上越総合運動公園(テニスコート)、上越市教育プラザ体育館
制度導入年度	平成 20 年度
指定管理者名	一般財団法人 上越市体育協会(現市スポーツ協会)
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで
自主事業	健康体操教室、ヨガ教室、ランニング教室、各種スポーツ大会の開催

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
利用者数	403,214 人	457,705 人	445,100 人	504,390 人

平成 30 年度の利用者数は、教育プラザ体育館の利用者増加に加え、高田公園陸上競技場のリニューアル工事が完了したことから、平成 29 年度に比べて 46,685 人の増となった。

決算書 (P364～P367)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入		—	—	—	—
②支出	施設管理運営 業務委託料	62,919	60,805	57,855	57,855
	その他	14,380	17,101	11,931	16,393
	合計	77,299	77,906	69,786	74,248
③公費投入額 (②-①)		77,299	77,906	69,786	74,248
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		192	170	157	147

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	67,565
平成 30 年度の指定管理料 (委託料)	②	57,855
指定管理料の増減額	②-①	△9,710

指定管理施設の減少や利用料金の改定に伴う増収により、前指定期間の指定管理料平均額に比べて9,710千円の減となった。

(参考) 指定管理者の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	26,445	28,043	28,000	29,931
	施設管理運営 業務委託料	62,919	60,805	57,855	57,855
	その他	4,355	4,109	4,732	4,452
	合計	93,719	92,957	90,587	92,238
②支出		93,176	90,678	90,587	93,336
差引 (①-②)		543	2,279	0	△1,098

決算書 (P 364～P 367)	10 款 6 項 4 目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

(指定管理施設：柿崎区)

○指定管理の状況

指定管理施設 (5 施設)	上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園（野球場、グラウンド、人工芝グラウンド）、上越市柿崎屋内水泳プール
制度導入年度	平成 20 年度
指定管理者名	新東産業 株式会社
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで
自主事業	さわやかフィットネス教室、いきいき健康体操&ストレッチ教室、男性のための体操教室、トランポピクス教室、初心者ジョギング講座、ドーム杯スポレック大会、ドーム杯硬式テニス大会、幼児・児童水泳教室

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
利用者数	99,673 人	108,395 人	105,500 人	108,485 人

平成 30 年度の利用者数は、ランニングコースやトレーニングルームの個人利用者が増加したことから、平成 29 年度に比べて 90 人の増となった。

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
			予算	実績	
①収入	1,127	—	—	—	
②支出	施設管理運営 業務委託料	45,950	45,960	46,339	46,339
	その他	4,337	7,600	17,410	16,130
	合計	50,287	53,560	63,749	62,469
③公費投入額 (②-①)	49,160	53,560	63,749	62,469	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	493	494	604	576	

※平成 28 年度の収入は、鳥インフルエンザ緊急対応費用による県から市への補填金（指定管理者に対し市から同額を営業補填金として支出）

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額（決算ベース）	①	43,689
平成 30 年度の指定管理料（委託料）	②	46,339
指定管理料の増減額	②-①	2,650

指定管理施設の増加により、前指定期間の指定管理料平均額に比べて 2,650 千円の増となった。

決算書 (P364～P367)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

(参考) 指定管理者の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	7,967	7,940	7,700	7,888
	施設管理運営 業務委託料	45,950	46,339	46,339	46,339
	その他	4,256	3,068	3,767	2,913
	合計	58,173	57,347	57,806	57,140
②支出		53,754	56,252	57,272	57,744
差引 (①-②)		4,419	1,095	534	△604

(直営施設)

○実施内容

・市直営施設数

区 分	体育館等	野球場等	テニスコート	多目的広場	プールほか	計
合併前上越市	1	—	—	2	4	7
13区	14	3	5	7	12	41
合計	15	3	5	9	16	48

・主な修繕の状況

施設名	実施内容	
上越市大潟体育センター	1階体育室床塗装修繕	2,646
浦川原体育館	トイレ便器入替え修繕	2,030
大島多目的ホール	吊物機構手動ワイヤーロープ交換修繕	1,501

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計 画	実 績
利用者数	393,534 人	316,978 人	324,000 人	314,861 人

平成 30 年度の利用者数は、大潟区、吉川区、板倉区、清里区の一部の体育施設で利用者が減少したことから、平成 29 年度に比べて 2,117 人の減となった。

決算書 (P364～P367)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	15,321	13,687	13,201	12,264
	その他	4,726	59,020	10,943	11,169
	合計	20,047	72,707	24,144	23,433
②支出	維持管理費	128,390	208,585	144,532	131,784
	うち委託料	53,538	52,710	57,611	52,741
	その他	—	—	—	—
	合計	128,390	208,585	144,532	131,784
③公費投入額 (②-①)		108,343	135,878	120,388	108,351
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		275	429	372	344

<参考：体育施設全体の状況>

・スポーツ推進課所管施設数 (平成30年度末現在) ()内は指定管理施設数

区 分	体育館等	野球場等	テニスコート	多目的広場	プールほか	計
合併前上越市	5 (4)	6 (6)	4 (4)	4 (2)	7 (3)	26 (19)
13区	15 (1)	4 (1)	5 (0)	9 (2)	13 (1)	46 (5)
合計	20 (5)	10 (7)	9 (4)	13 (4)	20 (4)	72 (24)

※上越市立オールシーズンプールを除く

【事業の成果】

- ・施設の維持管理では、重要度や緊急度の高い修繕等を優先的に実施し、安全で快適なスポーツ環境を維持することができた。
- ・体育施設の年間延べ利用者数は、学校体育施設と合わせて体育施設全体で年間利用調整に取り組んだ結果、平成29年度に比べて44,714人の増であり、市内のスポーツ団体の定期的な活動や各種大会・合宿を支援することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設の老朽化が年々進んでいくことから、施設のグレードに基づき、計画的に設備や備品の機能維持に取り組んでいく必要がある。
- ・スポーツ環境を整える上で、ルール改正等に基づく施設改修や備品更新を計画的に行うとともに、利用者の要望を踏まえ、機能向上を目的とした改修に取り組んでいく必要がある。
- ・市民ニーズに適したスポーツ環境を将来にわたって持続できるよう体育施設の適正配置を推進していく必要がある。

決算書 (P364～P367)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

【執行残額について】

○入札差金	1,635	
・委託料		642
・借上料		115
・工事請負費	(344
・備品購入費		534
○その他	12,451	
・報酬等		960
・光熱水費等		1,484 (電気や水道等の使用量の減)
・電信電話料等		126
・修繕料		3,329
・手数料		42
・委託料		3,363 (除雪委託料の減等)
・借上料		69
・使用料等		134
・工事請負費		2,743 (柿崎屋内水泳プール下水道接続工事設計変更に伴う減)
・原材料費等		201

決算書 (P364～P367)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

<参考資料>

・体育施設利用状況

(単位：人)

No.	区分	施設名		管理区分	平成29年度	平成30年度	差引増減	
					利用人数	利用人数	利用人数	
1	合併前の上越	総合体育館		指定管理	93,359	95,395	2,036	
2		勤労身体障害者体育館		指定管理	31,912	34,589	2,677	
3		高田スポーツセンター		指定管理	49,711	46,745	△ 2,966	
4		教育プラザ体育館		指定管理	93,538	127,630	34,092	
5		高土スポーツ広場体育館		指定管理	12,300	0	△ 12,300	
6		高田公園野球場		昼間	指定管理	8,787	9,551	764
				ナイター	指定管理	1,908	2,354	446
7		今泉スポーツ広場野球場		昼間	指定管理	6,625	7,239	614
				ナイター	指定管理	1,177	1,214	37
8		スポーツ公園野球場		昼間	指定管理	7,150	7,513	363
				ナイター	指定管理	3,266	3,431	165
9		藤野野球場		昼間	指定管理	4,151	4,623	472
				ナイター	指定管理	3,436	3,265	△ 171
10		びょうぶ谷野球場		昼間	指定管理	4,257	3,600	△ 657
				ナイター	指定管理	2,486	3,698	1,212
11		高土スポーツ広場野球場		指定管理	2,165	0	△ 2,165	
12		少年野球場		指定管理	24,745	25,416	671	
13		スポーツ公園多目的広場		指定管理	3,874	3,859	△ 15	
14		今泉スポーツ広場多目的広場		指定管理	12,098	7,526	△ 4,572	
15		教育プラザ多目的広場			4,950	6,086	1,136	
16		東埠頭緑地多目的広場			3,627	5,286	1,659	
17		上越総合運動公園テニスコート		昼間	指定管理	26,917	22,298	△ 4,619
				ナイター	指定管理	6,261	7,309	1,048
18		高田公園庭球場(第1・3)		昼間	指定管理	12,355	11,556	△ 799
				ナイター	指定管理	5,390	4,568	△ 822
19		スポーツ公園庭球コート		昼間	指定管理	4,659	4,122	△ 537
				ナイター	指定管理	364	407	43
20		上越市庭球コート		昼間	指定管理	1,700	1,235	△ 465
21		高田公園陸上競技場		指定管理	20,546	53,254	32,708	
22		高田公園弓道場		指定管理	11,895	11,446	△ 449	
23		春日山ペタンク場		指定管理	330	260	△ 70	
24		直江津海岸ビーチバレーコート			2,816	4,031	1,215	
25		高田西小学校屋外運動場		ナイター	2,170	1,476	△ 694	
26		春日中学校屋外運動場		ナイター	3,789	3,081	△ 708	
27		直江津東中学校屋外運動場		ナイター	3,425	3,755	330	
28	保倉体育館			10,718	11,193	475		
29	安塚	安塚B&G海洋センター	プール以外		3,848	3,073	△ 775	
30			プール		2,058	1,814	△ 244	
31		和田スポーツ公園	グラウンド	昼間	482	428	△ 54	
				ナイター	471	410	△ 61	
32	浦川原体育館			22,628	21,174	△ 1,454		
33	浦川原運動広場		野球場	昼間	261	575	314	
			ナイター	426	236	△ 190		
34	浦川原運動広場		トレーニング棟	988	823	△ 165		
35	浦川原プール			683	545	△ 138		

決算書 (P364～P367)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

No.	区分	施設名	管理区分	平成29年度	平成30年度	差引増減	
				利用人数	利用人数	利用人数	
36	大島	大島多目的ホール		10,590	10,313	△ 277	
37		大島中学校屋外運動場	ナイター	589	204	△ 385	
38	牧	牧体育館		11,460	12,386	926	
39		牧プール		1,703	1,614	△ 89	
40	柿崎	柿崎総合体育館	指定管理	64,946	66,950	2,004	
41		柿崎体育館		8,018	8,790	772	
42		野球場	昼間	指定管理	5,229	5,529	300
			ナイター	指定管理	1,015	1,020	5
43		グラウンド	昼間	指定管理	5,805	6,256	451
44			人工芝グラウンド	昼間	指定管理	17,666	15,477
			ナイター	指定管理	5,743	7,006	1,263
45		柿崎第1庭球コート	昼間		7,206	9,242	2,036
			ナイター		4,768	5,247	479
46		柿崎ゲートボール場			776	617	△ 159
47	柿崎屋内水泳プール		指定管理	7,991	6,245	△ 1,746	
48	大潟	大潟体育センター		14,025	12,340	△ 1,685	
49		大潟運動広場		4,735	4,820	85	
50		大潟運動場		3,510	3,280	△ 230	
51		大潟体操アリーナ		33,045	34,073	1,028	
52		大潟町中学校屋外運動場	テニスコート	ナイター	901	637	△ 264
53	頸城	頸城明治野球場		60	66	6	
54	吉川	吉川体育館		13,615	10,292	△ 3,323	
55		吉川野球場		1,839	1,356	△ 483	
56		吉川テニスコート	昼間		419	369	△ 50
	ナイター			2,872	1,937	△ 935	
57	中郷	中郷総合体育館		10,485	9,490	△ 995	
58		中郷総合運動公園	屋外運動場		3,480	3,549	69
59			テニスコート		35	13	△ 22
60			ゲートボール場		628	717	89
61	板倉	板倉農業者トレーニングセンター		15,601	18,335	2,734	
62		板倉北部スポーツセンター		9,257	9,041	△ 216	
63		板倉運動広場	昼間		4,362	3,232	△ 1,130
			ナイター		236	0	△ 236
64		板倉庭球コート			2,396	840	△ 1,556
65		板倉ふれあいゲートボール場			2,076	1,998	△ 78
66	清里	清里スポーツセンター		29,917	26,082	△ 3,835	
67		清里スポーツ公園	グラウンド		5,622	7,477	1,855
68			テニスコート		89	90	1
69		清里中学校夜間照明設備		ナイター	4,054	3,590	△ 464
70	三和	三和体育館		24,565	25,228	643	
71		三和スポーツセンター		9,518	13,957	4,439	
72		三和西部スポーツハウス		6,030	5,069	△ 961	
73		三和スポーツ公園グラウンド		4,386	2,640	△ 1,746	
74		三和中学校屋外運動場		ナイター	750	1,944	1,194
合計				882,735	927,449	44,714	

※上越市高士スポーツ広場（体育館、野球場）は、平成29年度末をもって廃止

(単位：千円)

決算書 (P366～P367)	10款6項5目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,541	23,206					23,206
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	335			72	263	

【目的】

市民の健康増進や水泳の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を提供する。

平成 30 年度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○指定管理の状況

制度導入年度	平成 17 年度
指定管理者名	株式会社 新潟ビルサービス
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで
自主事業	<p>各種水泳教室(1日体験スクール、資格テスト、水すましの会、スキルアップレッスン、短期教室、幼児教室、小・中学生教室、成人教室、水中運動、アクアビクス)</p> <p>各種行事等(上越市立オールシーズンプール水泳競技大会、親子水遊び体験会、新春初泳ぎレクリエーション、わんぱく水遊び天国、水中ウォーキング講習会)</p>

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
利用者数	92,622 人	60,485 人	102,000 人	93,733 人

平成 29 年度は、プール槽の防水シート張替修繕工事で約 4 か月間休館したことに伴い利用者数が減少したが、平成 30 年度は 33,248 人増加し、例年並みの利用者数となった。

※各種教室参加者数・・・平成 29 年度 36,348 人、平成 30 年度 60,764 人

決算書 (P366～P367)	10款6項5目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入		—	—	—	—
②支出	施設管理運営 業務委託料	21,379	21,379	21,379	21,379
	修繕料	1,985	31,849	2,162	1,575
	備品購入費	—	—	—	272
	設備点検委託料	184	—	—	—
	営業損失補填金	—	2,764	—	—
	合計	23,548	55,992	23,541	23,226
③公費投入額 (②-①)		23,548	55,992	23,541	23,226
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		254	926	231	248

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	31,153
平成 30 年度の指定管理料 (委託料)	②	21,379
指定管理料の増減額	②-①	△9,774

平成 27 年 10 月に行った利用料金の見直しに伴う収入の増加を見込んだことから、指定管理委託料が前指定期間の平均額に比べて平成 30 年度は 9,774 千円の減となった。

(参考) 指定管理者の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	33,392	21,665	35,795	34,246
	施設管理運営 業務委託料	21,379	21,379	21,379	21,379
	営業損失補填金	—	2,765	—	—
	その他	2,937	2,034	3,800	2,910
	合計	57,708	47,843	60,974	58,535
②支出		58,516	50,561	60,974	60,776
差引 (①-②)		△808	△2,718	0	△2,241

決算書 (P 366～P 367)	10 款 6 項 5 目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

【事業の成果】

指定管理者の自主事業である各種教室が増え、子供から高齢者まで幅広い世代で水泳の普及促進が図られ、選手の競技力の向上はもとより、市民の健康増進に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

建物本体は築 40 年以上が経過していることから、安全性を第一に計画的な修繕に取り組んでいく。

【執行残額について】

- 入札差金 72
 - ・修繕料 52
 - ・備品購入費 20
- その他 263
 - ・修繕料

(単位：千円)

決算書 (P 366～P 367)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,565,356	1,510,521				870,193 (諸収入)	640,328
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	54,835			3	54,832	

【事業の目的】

栄養のバランスがとれた安全でおいしい給食を提供するとともに、地域食材の活用や、食に関する指導により、食生活や食料についての知識と理解を深める。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・学校給食調理業務の民間委託を新たに 4 校で実施する (合計 43 校)。
- ・地域に応じた納入方法等を活用し、地場産野菜の使用を更に推進する (第 3 次食育推進計画使用率目標 17%以上)。
- ・調理工程での確認を徹底し、給食調理における異物混入やアレルギー事故の発生を防ぐ。

○実施内容、これまでの経過等

1 全体計画

- ・安全でおいしい給食を提供するため、衛生管理上及び作業管理上必要な消耗品の配備や備品の修繕、入替え、補充を行うほか、検便の実施、ボイラー・小荷物専用昇降機の保守点検委託、調理機器の借上げ等を行う。
- ・平成 19 年度から開始した調理業務の民間委託を順次拡大する。
- ・学校給食用に生産する地場産野菜の使用を継続、拡大する。
- ・小中学校及び幼稚園で使用される給食用食材の放射性物質検査を実施する。

2 これまでの経過

- ・給食室の衛生管理及び環境整備のため、計画的に消耗品の配備や備品の修繕、入替え等を行っている。
- ・調理業務の民間委託について、毎年度計画的に移行している。
- ・生産者や J A えちご上越、認定農業者会等と連携し、地場産野菜や契約栽培米コシヒカリの使用、環境に配慮した無洗米の使用等、地産地消や食育の取組を進めている。
- ・保護者等の不安をなくすため、給食用食材の放射性物質検査を継続している。

3 平成 30 年度の事業内容

(1) 民間委託

新たに、上雲寺小学校、有田小学校、里公小学校、雄志中学校で委託に移行し、これまで実施している 39 校と合わせ、合計 43 校となった。

決算書 (P366～P367)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

<民間委託等による経費削減効果>

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
委託	16 校	21 校	32 校	36 校	39 校	43 校
派遣	5 校	6 校	1 校			
削減額	56,397	61,529	49,241	67,983	70,537	92,068

※ 削減額は、直営による調理業務において見込まれる経費（調理員の人件費・その他経費）と委託に係る経費の差額

(2) 地場産野菜の使用

- ・地場産野菜の使用拡大に向け、給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、出荷計画等について関係団体と情報共有を図り、青果物市場への出荷品目や出荷量の拡大を図った。
- ・地場産使用割合の低い区では、学校栄養職員・栄養教諭、生産者、納入業者による連携会議を開催し情報共有を図るとともに、地域に応じた納入方法等を確立し、地場産野菜の使用拡大に取り組んだ。

<学校給食における地場産野菜の使用状況>

(単位：kg、%)

	平成 29 年度			平成 30 年度		
	給食使用量	うち地場産	使用割合	給食使用量	うち地場産	使用割合
合併前上越市	220,204.33	18,951.6	8.61	222,811.43	26,452.67	11.87
安塚	3,048.53	551.8	18.10	3,199.44	447.03	13.97
浦川原	6,075.1	1,661.47	27.35	5,879.76	2,020.28	34.36
大島	2,071.0	334.3	16.14	1,851.10	294.20	15.89
牧	2,830.2	784.3	27.71	2,811.91	500.93	17.81
柿崎	15,163.5	1,901.4	12.54	14,585.57	1,403.40	9.62
大潟	14,874.74	5,324.2	35.79	13,746.15	4,544.70	33.06
頸城	18,566.56	2,924.3	15.75	17,449.67	3,773.24	21.62
吉川	7,248.66	636.88	8.79	6,720.43	354.00	5.27
中郷	5,701.36	973.35	17.07	5,409.54	966.80	17.87
板倉	14,614.57	1,067.61	7.31	14,281.22	398.60	2.79
清里	5,091.06	1,717.23	33.73	3,803.71	986.76	25.94
三和	9,318.28	2,519.76	27.04	10,711.17	2,881.82	26.90
名立	4,223.34	983.74	23.29	4,275.85	839.45	19.63
13 区計	108,826.9	21,380.34	19.65	104,725.52	19,411.21	18.54
市全体	329,031.23	40,331.94	12.26	327,536.95	45,863.88	14.00

(3) 給食費

- ・学校と連携しながら、保護者に対し徴収方法の周知を図るとともに、督促と定期的な催告を行った。

決算書 (P366～P367)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

<学校給食費徴収状況>

(単位：円)

		調定額	収納額	未納額 (延べ人数)	収納率 (%)	
						H29
小 中 学 校	現年度分	872,003,681	866,988,268	5,015,413 (220)	99.42	99.47
	過年度分	7,472,709	2,821,003	4,651,706 (135)	37.75	42.42
	小計	879,476,390	869,809,271	9,667,119 (355)	98.90	99.14
	幼稚園	3,205,170	3,205,170	0 (0)	100.00	100.00
	合計	882,681,560	873,014,441	9,667,119 (355)	98.90	99.14

※ 給食費月額 小学校 4,890 円 中学校 5,680 円 幼稚園 4,500 円

(4) 異物混入

- ・調理過程での異物混入を防ぐため、納入時の検収や作業前・調理中の確認を徹底した。
- ・調理員に対し、事例を通じた調理作業時における異物混入防止について研修を行った。
- ・学校管理職による検食での確認を徹底した。

<異物混入発生状況>

(単位：件)

年度	H29		H30	
	件数	うち経口 事案	件数	うち経口 事案
金属片・ガラス等	11 (4)	0 (0)	7 (5)	4 (4)
毛、虫、糸等	78 (1)	8 (0)	100 (0)	8 (0)
合計	89 (5)	8 (0)	107 (5)	12 (4)

※ () は県への報告件数：県の異物混入等対応マニュアルに基づき、金属・ガラス・硬質プラスチック類等、健康被害を及ぼす可能性のある混入物について報告するもの

(5) アレルギー対応

- ・入学時に調査を実施し、対応が必要な場合は主治医の指示・診断(「学校生活管理指導表」又は診断書・検査結果・口頭指示)に基づき、アレルギー事故を起こさないよう保護者、学校と連携し対応した。
- ・「学校における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、除去食・代替食等の対応を行ったほか、配膳の食器を変えてアレルギー事故の防止に努めた。
- ・納品時の検収の徹底を図ったほか、アレルギー対応当日チェックと食品成分表のアレルゲンの確認等の作業を複数人で行った。

<食物アレルギー対応調査(各年度4月末現在)>

年度	対象者(学校生活管理指導表提出者)				アナフィラキシー 症状有	エピペン所持
	小学校	中学校	合計	割合		
H29	241 人	140 人	381 人	2.70%	55 人 (14.4%)	36 人 (9.4%)
H30	254 人	143 人	397 人	2.82%	57 人 (14.4%)	44 人 (11.1%)

(6) 放射性物質検査

- ・東日本大震災における原子力発電所での事故を受け、給食用食材の安全性を確認し給食に対する保護者等の不安をなくすため、放射性物質検査を実施した。(平成24年2月から実施)

決算書 (P 366～P 367)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

○目標達成状況

- ・学校給食調理業務の民間委託は、予定どおり新たに4校で実施した。
- ・地場産野菜の使用量の拡大に向け、地域に応じた納入方法を確立し、地場産野菜使用の推進を図ったが、天候不順等により生産物の品質、量等が確保できず供給量が減少し、使用率目標の達成につなげることができなかった。
- ・調理工程での確認を徹底し異物混入の防止に努めたが、異物の混入及び経口事案が前年度より増加した。(健康被害なし)
- ・アレルギー症状の発症件数は前年度より減じ、3件であった。

【事業の成果】

- ・学校給食調理業務の民間委託を43校に拡大し、経費の削減に努めた。
- ・地元産コシヒカリ100%の無洗米使用を継続するとともに、地場産野菜を原料とした冷凍野菜を使用するなど、地産地消と食育の推進に貢献できた。
- ・給食費の未納者に対して督促と催告を定期的に行うとともに臨戸訪問を実施し、徴収方法の周知及び徴収に努めたが、収納率を上げることはできなかった。
- ・異物混入防止について指導や研修を繰り返すことにより、調理員に起因する混入は減少した。
- ・アレルギー対応について情報共有、調理時の確認の徹底に努め、アレルギー症状の発症件数は減じたが、学級での配膳ミスによるアレルギー事故が1件発生した。
- ・給食用食材の放射性物質検査を継続的に実施し、給食の安全性を確認することにより、保護者の不安を軽減することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地場産野菜の使用拡大については、市の園芸振興施策として構築したJAえちご上越が青果物市場へ出荷するシステムを今後も活用するとともに、関係団体と情報共有しながら地域に合った取組を推進していく。
- ・給食費の未納について、児童手当からの徴収制度を引き続き活用するとともに、督促、催告を適切に行い、可能な限り現年度中の徴収に努める。
- ・健康被害を及ぼす可能性のある金属類等の混入もあったことから、調理員に対し、異物混入の防止について検収時、調理時、配食時の確認及び対応手順の徹底を引き続き指導していく。
- ・アレルギー事故を起こさないよう、保護者、学校、栄養教諭等、調理員が情報共有を確実にを行い、給食室内での調理並びに学級での配膳時における危機管理体制を継続していく。

【執行残額について】

○入札差金 3

- ・小荷物専用昇降機保守点検委託料

○その他 54,832

- ・報酬、共済費 9,697
- ・消耗品費 3,607
- ・賄材料費 37,654 (インフルエンザ・胃腸炎による学級閉鎖や行事等に伴う給食提供数の減)
- ・手数料 3,447
- ・通信運搬費ほか 427

(単位：千円)

決算書 (P366～P369)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食センター費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
42,275	38,570					38,570
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,705			75	3,630	

【事業の目的】

栄養のバランスがとれた安全でおいしい給食を提供するため、4か所の給食センターの管理運営を行う。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- 調理工程での確認を徹底し、給食調理における異物混入やアレルギー事故の発生を防ぐ。
- 施設整備や備品の入替え、補充を行うことにより、衛生環境の改善を図る。

○実施内容、これまでの経過等

1 全体計画

- 大島、牧、柿崎第一、柿崎第二の4センターにおいて、小学校5校、中学校3校の児童・生徒に提供する学校給食の調理及び配送を行う。

＜学校給食センターの状況＞

センター名	開設年月	受配校	食数	炊飯方式
大島	昭和63年 4月	大島小、大島中	91食	センター炊飯
牧	昭和62年 4月	牧小、牧中	125食	センター炊飯
柿崎第一	昭和46年10月	上下浜小、柿崎中	359食	委託炊飯
柿崎第二	昭和52年 5月	柿崎小、下黒川小	369食	センター炊飯

- 安全でおいしい給食の提供と学校給食センターの円滑な運営のため、衛生管理及び作業管理上必要な備品の入替え、補充を行うほか、検便の実施、給食運搬委託やボイラー・小荷物専用昇降機等の保守点検委託等を行う。

2 これまでの経過

- 学校給食センターの施設設備の老朽化に対し、衛生管理基準を遵守するため、適宜修繕や備品の入替え、補充を行っている。
- 地産地消の取組の一環として、地元生産者から地場産野菜を直接購入している。

3 平成 30 年度の事業内容

- 備品修繕 スチームコンベクションオープン(大島)、食器消毒保管庫(柿崎第一、柿崎第二)、冷蔵庫(柿崎第二)、給食運搬車(大島、牧、柿崎第二)等

決算書 (P 366～P 369)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食センター費		

- ・ 営繕修繕 蒸気配管修繕（大島）、三槽シンク排水トラップ、ボイラー配管、貯湯槽配管漏水、手洗湯沸器交換修繕（柿崎第一）、休憩室エアコン交換、屋外コンクリート部分、換気扇交換修繕（柿崎第二）等
- ・ 備品入替 洗濯機、除湿器（大島）、食器消毒保管庫、ドライ仕様移動台（牧）、プリンター（柿崎第一）、冷蔵庫、食器消毒保管庫、ガス回転釜、ドライ仕様二槽シンク、スチームコンベクションオープン、炊飯器用炊飯鍋ほか（柿崎第二）

○目標達成状況

- ・ 調理工程での確認を徹底し、給食調理における異物混入やアレルギー事故の防止に努めた。
- ・ 修繕や備品入替を計画どおり実施した。

【事業の成果】

- ・ 異物混入防止に努め、アレルギー事故を発生させることなく、安全で安心な給食を提供することができた。
- ・ 計画的な修繕や備品の入替えにより、衛生環境の改善が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 施設設備の老朽化や衛生管理基準等を踏まえ、引き続き適切に修繕や備品の入替え、補充を行っていく。

【執行残額について】

- 入札差金 75
 - ・ 備品購入費
- その他 3,630
 - ・ 報酬・共済費 2,477
 - ・ 費用弁償 350
 - ・ 燃料費 353
 - ・ 手数料 236
 - ・ 委託料ほか 214